

マンションに入れ子状の木質空間を挿入し、木軸フレーム内部の壁・天井は杉板、外部は漆喰仕上げとしている。梁の厚みを活かしたTVボードや木製内窓等の工夫によりマンション特有の柱梁の存在が薄れ、伝統的木材加工技術を現代に活かした空間となっている。

リフォーム前後の写真

after



①マンション特有の大きな柱梁の存在感を消すことで、羽目板や大谷石の素材感が引き立ち木造住宅のような空間とした。



②キッチンが壁付けL型としてレンジフードは造作した。



③木軸フレームによる入れ子状の空間が広がりを生む。



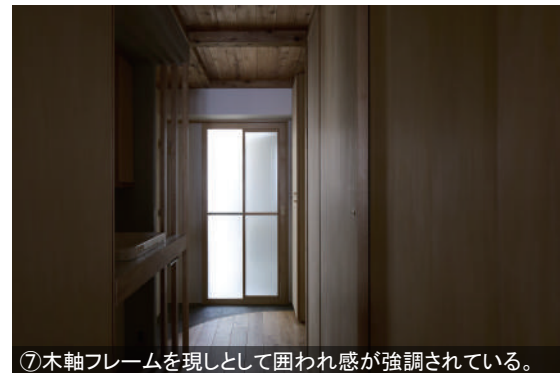
④SICから玄関を見る。



⑤SICから玄関へ柔らかな光が広がる。



⑥出窓に面した寝室は木軸フレームで緩やかに仕切る。



⑦木軸フレームを現しとして囲われ感が強調されている。



⑧洗面台には寝室に繋がる小窓を設け視線や風が抜ける。



⑨リビングからSICを見る。

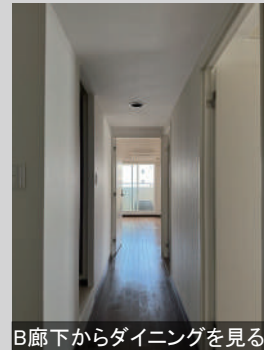


⑩ダイニングの窓はカップボードを被せて腰窓のようにした。

before



Aダイニングの既存の窓は掃き出し窓であった。



B廊下からダイニングを見る



Cダイニングから襖と壁で仕切られた和室を見る。



Dダイニングから玄関を見る

①～⑩写真撮影：八坂麻里子 A～D写真撮影：高嶋俊伸

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

駅前線路沿いに建つ中古マンション角部屋住戸のリノベーション。木軸フレームによる入れ子状の空間を設けることで、各居場所に様々な関係性を持たせ、面積以上の広がりを生み出す事を試みた。木軸フレーム内部は天井を低く抑えて木軸を現しとし、壁天井を杉板などで仕上げ、フレームに囲われた空間であることを強調した。木軸フレーム外部は壁天井に漆喰を塗り回し明るい空間としながら躯体の梁の厚みを活かしてニッチ状にTVボード、木製内窓などを設

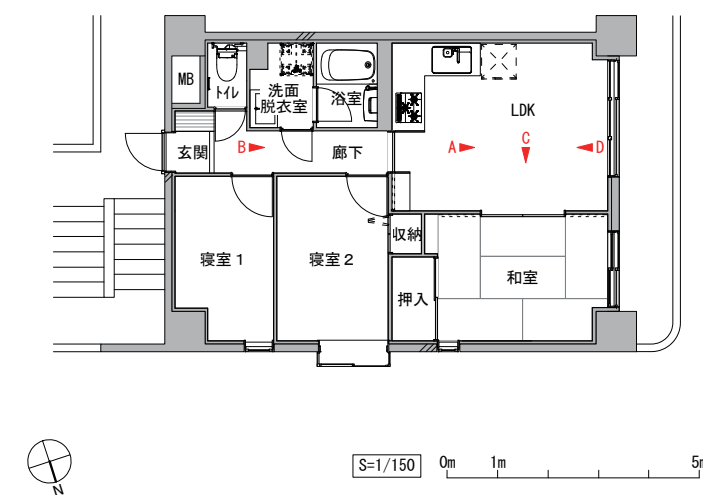
けることで既存躯体を目立たせず空間全体に統一感を持たせた。一部寝室やワークスペースなどフレームの内外をまたいで利用する設えとし木軸フレームが日々の暮らしに溶け込むように配慮した。マンション特有の大きな柱梁が目立たず、日本建築が慣れ親しむ木軸フレームや素材が際立つ事で木造住宅のような空間となった。木造建築で培われてきた技術を活用しマンションリノベーションにおいても日本の風土や文化に根差した空間を受け継いでいきたい。

審査基準のうち右記に該当する場合は ☒ a.ストックの有効活用 / ☐ b.深刻化する技能者不足への対応 / ☒ c.既存住宅流通・リフォーム市場の拡大・活性化

性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
①室内空気環境 ②温熱性能 ③防音・遮音性能 ④耐久性	漆喰など自然素材を多用して室内の空気質改善に配慮した。外壁面に新規断熱材を施工し木製の内窓を設け温熱性能や防音、遮音性能向上に配慮した。	リフォーム前 リフォーム後

データ					
所在地	千葉県松戸市	新築竣工年	1987 年	築後年数	38 年
施工期間	144 日間	該当工事床面積	55.18㎡	総工事床面積	55.18㎡
該当部分工事費	1,000～2,000万円未満	総工事費	1,000～2,000万円未満	居住者構成	65 歳以上： 人 / 40～64 歳： 人 / 15～39 歳： 2 人 / 14 歳以下： 人 / ペット： 人

リフォーム前の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □エクステリア/ □マンション共用部分/ □その他

リフォーム後の平面図

